

科目名	e コマース演習 1							年度	2024
英語科目名	e-Commerce Exercises 1							学期	後期
学科・学年	情報ビジネス科 1年次	必／選	選	時間数	45	単位数	2	種別※	講義
担当教員	大野田 和弘		教員の実務経験		有	実務経験の職種		法人代表	
【科目の目的】									
この科目の目的は、様々な手法やデータを活用して有益な情報を見つけ出し、実業務に応用する能力を養うことです。また、異なるデータ分析手法を理解し、パソコンを使用して電子商取引を実際に体験することにより、eコマース分野の実践的なスキルを習得します。									
【科目の概要】									
この科目では、データ分析の基本的な手法から始め、様々なデータソースから有益な情報を抽出する方法を学びます。さらに、実業務にどのように役立てるかを考える実践的なアプローチを探求します。また、電子商取引の基本的な概念を理解し、パソコンを使用して実際のeコマース活動を体験することにより、実践的なスキルを向上させます。									
【到達目標】									
データの収集と解析 実業務への応用能力 データ分析手法の理解 電子商取引体験 創造的なアプローチと発想									
【授業の注意点】									
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。 理由のない遅刻や欠席は認めない。 また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。 授業の進捗状況により、内容が前後する場合があります。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	多様なデータ収集手法を用いて有益な情報を収集し、高度なデータ解析ができる	さまざまなデータ収集手法を適切に活用し、基本的なデータ解析ができる	基本的なデータ収集手法を用いて情報を収集し、基本的なデータ解析ができる	データ収集が限定的であり、解析が難しい	データ収集が不十分であり、解析ができない				
到達目標 B	収集した情報を実業務に有益に活用できる能力が高く、創意工夫がある	収集した情報を実業務に活用できる能力があり、実用的な提案ができる	収集した情報を基本的に実業務に活用できる能力がある	収集した情報の実業務への応用が限定的であり、提案が不足している	収集した情報を実業務に活用できない能力が不足している				
到達目標 C	様々なデータ分析手法を高度に理解し、適切に選択して活用できる能力がある	様々なデータ分析手法を理解し、基本的な選択と活用ができる	基本的なデータ分析手法を理解し、一部の選択と活用ができる	データ分析手法の理解が限定的であり、選択や活用が難しい	データ分析手法の理解が不十分であり、選択や活用ができない				
到達目標 D	パソコンを使用して電子商取引を実際に体験し、理解と実践が豊かである	パソコンを使用して電子商取引を体験し、基本的な理解と実践がある	パソコンを使用して電子商取引を一部体験し、基本的な理解と実践がある	電子商取引の体験が限定的であり、理解や実践が不足している	電子商取引を理解できておらず、体験も実践もできない				
到達目標 E	創意工夫に富んだアプローチで課題に取り組み、新たな視点を提供できる	創意工夫に富んだアプローチで課題に取り組み、新たな視点を示せる	創意工夫に基本的なアプローチで課題に取り組み、提案がある	創意工夫のアプローチが限定的であり、新たな視点が欠けている	創意工夫のアプローチが不足しており、新たな視点が無い				
【教科書】									
【参考資料】									
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験・課題 平常点	90% 10%	試験と課題を総合的に評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		I o T ビジネス活用				年度	2024
英語表記						学期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価	備考
1	eコマースの基本概念と重要性	eコマースの基本概念とその重要性を理解する	1	eコマースの定義、利点、市場動向の分析	eコマースの基本的な理解	3	
			2				
			3				
2	データ分析とビジネスインサイト	データ分析の重要性とビジネスインサイトの発見方法を学ぶ	1	データ分析の役割	データから有益な情報を抽出する方法	3	
			2	有益な情報の見つけ方			
			3				
3	データ収集と整理	データ収集と整理の手法を学び、データの信頼性を確保する	1	データの収集方法	データを収集し整理する方法	3	
			2	データの整理とクレンジング			
			3				
4	データ可視化と分析ツール	データの可視化と分析ツールの活用方法を学ぶ	1	グラフやチャートの作成	データを可視化し分析ツールを使って情報を把握する方法	3	
			2	分析ツールの導入			
			3				
5	マーケット分析と顧客動向	マーケット分析と顧客動向の調査手法を学ぶ	1	ターゲット市場の分析	マーケットと顧客動向の分析方法	3	
			2	顧客のニーズと傾向の把握			
			3				
6	eコマース戦略と競合分析	eコマース戦略と競合分析の重要性を理解する	1	eコマース戦略の要素	eコマース戦略の構築と競合分析の方法	3	
			2	競合分析の手法			
			3				
7	ユーザーエクスペリエンスとサイト分析	ユーザーエクスペリエンスとサイト分析の重要性を学ぶ	1	ウェブサイトのユーザーエクスペリエンス	ユーザーエクスペリエンスの向上とサイト分析の方法	3	
			2	サイト分析の手法			
			3				
8	データセキュリティとプライバシー	データセキュリティとプライバシーの重要性を理解する	1	データセキュリティの基本	データセキュリティとプライバシーの考慮方法	3	
			2	プライバシーの保護			
			3				
9	インターネットマーケティングと広告戦略	インターネットマーケティングと広告戦略の基本を学ぶ	1	オンライン広告手法	インターネットマーケティングと広告戦略の方法	3	
			2	SNSを活用したマーケティング			
			3				
10	電子商取引の基本操作	電子商取引の基本操作を習得する	1	オンラインショッピングのプロセス	電子商取引の基本的な理解と操作方法	3	
			2	支払い方法			
			3				
11	オンラインプラットフォームとユーザーレビュー	オンラインプラットフォームとユーザーレビューの役割を理解する	1	オンラインマーケットプレイス	オンラインプラットフォームの利用とユーザーレビューの活用方法	3	
			2	ユーザーレビューの意義			
			3				
12	ロジスティクスと顧客対応	ロジスティクスと顧客対応の重要性を学ぶ	1	商品の配送と返品	ロジスティクスと顧客対応の基本的な理解	3	
			2	顧客対応の方法			
			3				
13	データセキュリティと信頼性の確保	データセキュリティと信頼性の確保策を学ぶ	1	オンライン取引のセキュリティ対策	データセキュリティと信頼性の確保方法	3	
			2	詐欺対策			
			3				
14	プロジェクト実践と成果発表	学んだ知識を活用してプロジェクトを行い、成果を発表する	1	グループプロジェクトの実践	学んだ知識をプロジェクトに応用し	3	
			2	プレゼンテーションの準備	成果をプレゼンテーションする方法		
			3				
15	授業振り返りと次のステップ	授業内容を振り返り、次のステップを考える	1	授業の振り返り	学んだ知識とスキルの振り返りと今後の展望	3	
			2	eコマース演習2への準備			
			3				

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等